

## どんな方がつけているの？

内部障害・疾患、視覚・聴覚障害、身体障害、発達障害、精神障害、知的障害  
認知症、難病、義足や人工関節を使用している、手術後、妊娠初期 など



## ヘルプマークに関するエピソード

### エピソード①義足や人工関節を使用している方

外見ではわからないので、電車の優先席に座っていると、注意されることがあります。  
ヘルプマークで事情があると伝えることができ、とても気が楽になりました。ヘルプマークをお守りにしています。

### エピソード②がん患者さん

がんを患っていて、副作用もあり、通院のために出かけると、立っているのもつらいです。でも見た目ではわかってもらえません。

### エピソード③聴覚障害のある方、言語障害のある方

ヘルプマークに「聞こえないので筆談をお願いします」と書いています。  
お店でヘルプマークを見せると、すぐに分って助けてもらえてありがたいです。

### エピソード④命を救う

ヘルプマークに緊急時の連絡先として、かかりつけの病院の電話番号を書いておいたので、発作で倒れた時に、救急隊員が気づいてすぐ連絡をしてくれ、一命を取り留めることができました。

### エピソード⑤発達障害のある方

ディスレクシア(読み書き困難)があり、銀行で書類を書くのがとても大変です。  
でも、シールに支援してほしいことを書いたヘルプマークを見せるとさりげなく教えてくれてスムーズに手続きができます。  
しかも大勢のお客様がいて、毎回、自分の障害を説明しなくてもいいのでストレスが減りました。

### エピソード⑥配慮されることも 配慮することもできる存在

慢性疾患があるので辛いときには助けてもらえるとありがたいです。  
でも、元気なときには、ヘルプマークを鞆にしまっています。  
できるときはお手伝いしようとおもっています。支援する側にもなれる、ということが嬉しい。

### エピソード⑦気づきと配慮

知的障害のある子どもが迷子になっていたとき、駅員さんがヘルプマークに気づいて、声掛けしながら見守ってくれていました。  
周りの方が気づいて配慮してくれて、ヘルプマークを身に着けていて良かったと心から思いました。その存在と意味を多くの方に知ってもらいたいです。

〈問合せ・申請先〉 浅口市役所 社会福祉課 ☎0865-44-7007

